

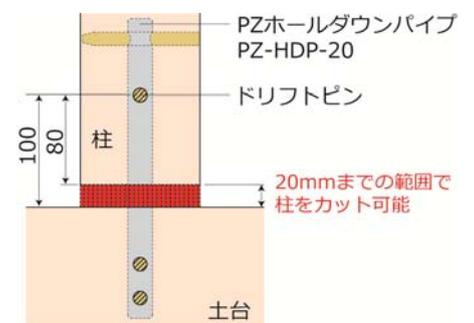
平成 30 年 1 月 9 日

## 20kN 用の PZ ホールダウンパイプで引張試験実施 金物工法でも土台プレートⅡの併用が可能に

BX カネシン株式会社（代表取締役：二村一久）は、プレセッターSU 等の金物工法で柱の引抜きに対応するパイプ金物「PZ ホールダウンパイプ PZ-HDP-20」を使用した接合部に、土台のめり込みを防止する「土台プレートⅡ」の使用を想定した試験を実施し、従来と同じ耐力数値で運用できることをハウスプラス確認検査株式会社の性能試験で確認いたしました。

昨年、「木造軸組工法住宅の許容応力度設計（グレー本）」が 2017 年版に改訂され、構造計算を行う際に長期荷重だけでなく短期荷重に対しても土台のめり込み応力の検定が求められ、金物工法でもめり込み防止として「土台プレートⅡ」等が必要となるケースがありました。しかし、パイプ金物と土台プレートⅡを併用すると、プレートの厚みだけ柱を短くカットしなければならず、柱木口からドリフトピンまでの距離が短くなってしまいうため、耐力への影響が懸念されていました。

今回の試験は、「PZ ホールダウンパイプ PZ-HDP-20」を使用し、ドリフトピンの穴から柱木口までの寸法を現在の 100mm から 80mm に短くするため柱を 20mm カットした試験体を作成。（土台プレートⅡは使用していません。）ハウスプラス確認検査株式会社で引張試験を行った結果、従来仕様を上回る耐力性能を確認いたしましたので、土台プレートⅡと併用いただいた場合も従来通りの耐力数値で運用いただけます。



2016 年と 2017 年の土台プレートⅡの販売数量を比較すると 1.8 倍増加しており、2013 年から 2017 年の過去 5 年間をみても、5.2 倍増加しています。また、（公財）日本住宅・木材技術センターでは 2017 年版の新グレー本にあわせ、2017 年 12 月にめり込み防止座金を Z マーク表示金物に追加しており、今後さらにめり込み防止用の商品の普及が期待されています。

※PZ ホールダウンパイプ PZ-HDP-20 以外のパイプ金物では併用できません。

※隅柱では使用できません。

### ●製品に関するお問合せ

BX カネシン株式会社 営業統括部 Tel. 0120-106781

### ●本ニュースリリースに関するお問合せ

BX カネシン株式会社 広報室 井上 Tel. 03-3696-6781